



2003 年 11 月 20 日

IATA 危険物規則書 2004 年 1 月 1 日 第 45 版の正誤表 (その一)

2004 年 1 月 1 日から使用する IATA 危険物規則書の第 45 版 (IATA Dangerous Goods Regulations 45th Edition) の Page 538 右側の 7.1.5.1 (d) の最後に、下に掲げた下線の施した文章を、イタリック態で書かれた Note の手前に挿入して下さい。

7.1.5.1 General

(d) for Classes 2 to 6, Class 8 and UN 1845 – Carbon dioxide, solid (dry ice): the NET QUANTITY of dangerous goods contained in each package or overpack must be shown. Where the maximum quantity shown in Columns H, J and K in subsection 4.2 is a gross weight, the GROSS WEIGHT of the package or of each package within the overpak must be shown. This quantity must be marked on each package or overpack adjacent to the UN number and Proper Shipping Name required by (a), above. Except for Carbon dioxide, solid (dry ice), this requirement only applies to consignments of more than one package.

Note:

Packages or overpacks

[翻 訳]

7.1.5.1 総 則

(d) 第 2 分類から第 6 分類までの危険物および、第 8 分類の危険物ならびに UN1845 – 固形二酸化炭素(ドライアイス)について: 個々の容器もしくはオーバーパックに収納されている危険物の NET QUANTITY を明記しなければならない。4.2 の危険物のリストの H, J および K 欄に記されている最大収納数量が総重量 (gross weight) 表示になっている危険物については、個々の容器もしくはオーバーパックに収納されている危険物の総重量(GROSS WEIGHT) を表示しなければならない。この数量表示は、上記 (a) 項で表示が義務付けられている UN Number 並びに Proper Shipping Name の隣に、個々の容器もしくはオーバーパックに表示しなければならない。二酸化炭素(ドライアイス)を除き、この数量表示の要件は、容器が 2 つ以上ある貨物にのみ適用する。

以 上